

「新エネ大賞」応募申請書【機器の部】(記入例：風力発電)

申請者(企業名等)	
機器の名称	「低騒音、高効率の風力発電装置」

項目	概要	備考
機器の特徴 (PRポイント)	世界で初めての 方式による風力発電装置を国産技術により開発・実用化した。本装置は風速に応じた最適な回転数による運転が可能であるため電力系統への影響も少なく、日本の市場になじむものである。従来機種と比較して性能面、保守面などから多くの改善がされ、今後の量産化を含め経済性の向上が見込まれ、風力発電の導入促進が期待できるものである。	別添： 機器概要参照
機器の先進性/独創性	<p><u>方式の概要</u> 従来技術とその課題、制約条件などの記載 課題、制約条件などの解決方を記載</p> <p><u>従来機種からの改善点</u> <u>高効率化</u>：可変速運転により、従来機種と比較して約 ~ %の発電量の向上が可能 <u>出力変動低減化</u>：風速変動に伴う出力変動は、約± %以内(従来機種± %程度) <u>突入電流低減化</u>：可変速運転により、起動時の突入電流の発生がない(従来機種の突入電流大) <u>低騒音化</u>：ギヤレス化により大幅な騒音低減を実現した(約 dB低減) <u>保守性の向上</u>：ギヤレス化により保守の簡素化を実現した</p>	別添： 方式説明 資料参照 別添： 性能データ参照
市場性	<p><u>販売実績</u> 平成 年：ポトタイ°納入 平成 年： 台納入</p> <p><u>将来予測</u> 本方式の特徴を生かし、 分野への参入をねらいとして導入促進が期待できる (目標：平成 までに 台導入)</p>	
経済性	<p><u>本体価格</u> 現状、従来型と比較して、本体価格は割高(約 %程度)となっている。今後、導入拡大を進めることで従来型と同レベルとなる見込みである。</p> <p><u>長期観点からの経済性</u> 初期価格が割高であるが、発電性能が優れており(発電量が多いため売電収益が大きい)、保守費用も従来型と大差なく、発電コストとしては、現状でも従来型とほぼ同等である。</p>	
運転実績	<p><u>運転実績</u> 実績時間はまだ少ないが、 サイトでの運転実績は以下の通り ・ 時間稼働率平均：約 % (平成 年 月 ~ 月) ・ 設備利用率平均：約 % (平成 年 月 ~ 月) ・ 平均風速：約 m/s (平成 年 月 ~ 月)</p> <p><u>主な不具合発生状況と対策</u> 当初、初期故障などで稼働率が低下していたが、最近の稼働率は、約 %を達成しており、特に故障は発生していない。</p>	別添： 運転実績参照
その他	方式の風力発電装置に関する特許 件出願中である	